

令和8年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 事業計画

1. 事業方針

社会福祉法人相互の連携と各法人の専門性・資源を活かし、地域生活課題の解決に向けた総合相談支援体制と地域での支えあいネットワークづくりを推進する。

また、誰も取り残さない地域共生社会の実現を目指し、その一環として「ひょうごほっとかナイト（※）」の趣旨を踏まえた地域福祉活動の充実にも取り組む。

さらに、緊急時の一時支援の実施と災害時も含めた法人間連携による支援体制の検討・整備を進め、地域のセーフティネットの充実を図る。

2. 事業計画

項 目	内 容
運営委員会	・ 会員相互の情報交換及び連携強化、社会福祉法人の取組の情報発信 ・ 地域生活支援会議等への参加を通じた多機関協働の促進 ・ 孤立しがちな人々の居場所づくりや参加・活躍支援に資する「ひょうごほっとかナイト」認定取得に向けた取組 ・ 制度の狭間や複合的な課題を抱える世帯への支援 ・ 緊急時・災害時に対応する法人間連携による支援体制の検討・整備 ・ 部会の運営支援
地域貢献活動部会	・ 地域との繋がりを強化するため、宝塚市地域福祉研修や出前講座がより効果的なものとなるよう、内容や実施方法の見直しを図る。 ・ 誰もが福祉相談を利用できるよう周知方法を検討し、相談体制の認知向上と相談しやすい地域づくりを推進する。 ・ 各社会福祉法人が、地域の住民や関連機関と協働した実践について報告を行い、事例の共有・蓄積を行っていく。
防災の取組み部会	・ 一昨年の防災食の紹介に続き、防災グッズの紹介の場を設け、実際に手にする機会を創出するとともに、各事業所の備蓄物資や災害対応資源の情報共有を図り、活用可能な支援内容の整理につなげる。 ・ 避難訓練の見学受け入れが可能な事業所を募集し、実施日時等の案内を発信することで、各事業所での実践につなげる。 ・ 災害福祉支援として、加盟法人間の連絡体制を整備・明確化し、有事の際に迅速な助け合いが可能となる体制を構築し、法人間の横のつながりを強化する。 ・ 有事の際の自助、公助の必要性を市民に投げかけることが出来るような機会を持つ。（イベントのブース出展等）

（※）「ほっとかへんネット」の中でも、特に地域貢献活動に積極的に取り組むほっとかへんネットを兵庫県知事、兵庫県社会福祉協議会会長及び兵庫県社会福祉法人経営者協議会会長などが認定する制度です。目的は、「誰も取り残されない地域共生社会」の実現に向けて、優れた取り組みを評価し、県内全体の福祉活動の質を高めることにあります。

令和8年度 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 予算書

(単位:円)

収入の部

項 目	令和8年度予算額	令和7年度決算額	摘 要
会 費	290,000	290,000	@10,000円×29法人
前年度繰越金	829,666	863,387	
利息	0	1,533	
合 計	1,119,666	1,154,920	

支出の部

項 目	令和8年度予算額	令和7年度決算額	摘 要
テーマ部会費	200,000	2,420	イベント費用
広報啓発費	100,000	11,000	ホームページ更新・チラシ印刷
消耗品費	20,000	34,737	事務消耗品 印刷代
通信費	10,000	8,790	資料など郵送代
旅費交通費	10,000	0	
諸謝金	50,000	0	研修会講師謝金
研修参加費	10,000	0	
諸会費	3,000	3,000	宝塚市社会福祉協議会組織構成会費
緊急対応支援費	100,000	29,733	
手数料	7,000	2,547	振込手数料・支払い手数料
その他	0	233,027	
小 計	510,000	325,254	
予備費	609,666	829,666	
合 計	1,119,666	1,154,920	